資料５

地域公共交通計画の別紙（案）の策定について

１　概要

地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づいて組織されている胆振地域公共交通活性化協議会においては、国の補助金の交付を受けて補助対象系統の運行を確保・維持しようとする場合、補助金の交付を受けようとする会計年度の前年度の６月 30 日までに、国土交通大臣へ計画認定申請書を申請する必要があるため、北海道胆振地域公共交通計画と連動した「別紙」を作成するもの。

２　書類一覧

（１）北海道胆振地域公共交通計画の別紙

（２）表１　確保・維持する地域間幹線系統の概要

（３）表２　地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額

（４）表４　地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱別表１及び別表３の補助事業の基準ハに基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」と認めた市町村の一覧

（５）生産性向上の取組について

※「（２）表１」は、【資料４】令和９年度地域間幹線系統確保維持地域計画に添付している表１を簡素化したものであり、「（４）表４」及び「（５）生産性向上の取組について」は、【資料４】令和９年度地域間幹線系統確保維持地域計画と同一の書類を使用している。

別　紙

令和８年６月　日

胆振地域公共交通活性化協議会

１．地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性

当地域は、中核都市群である室蘭市・苫小牧市に、高等学校（中等教育学校）が 25 校中 13 校、病院が 36 施設中 20 施設立地している。また、令和 5 年（2023）年度に実施した住民アンケート調査結果では、今後の公共交通の利用について、「公共交通に頼らざるを得ないため大事な移動手段である」とする回答や「数年後には免許を返納する予定のため大事な移動手段である」とする回答が合わせて 7 割以上であり、また「補助金を出して現在の路線バスのサービスを維持していく」とする回答も 7 割以上であることを踏まえると、公共交通の維持確保は当地域にとって重要な課題である。

特に学生や高齢者などにとっては、中核都市群とその周辺地域とを結ぶ広域的・幹線的なバス路線である地域間幹線系統は不可欠であり、維持確保していくことが必要である。

２.地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果

（１）事業の目標

・地域間幹線系統における公共交通利用者数（１人あたり利用回数）を現状（令和４（2022）年度）の 994 千人／年度（2.7 回／人・年度）から令和 10（2028）年度に 1,220 千人／年度以上（3.5 回／人・年度）にする。

・地域間幹線系統における公共交通の収支率を現状（令和４（2022）年度）の 43.4%から令和 10（2028）年度に 54.2%にする。

・地域間幹線系統における公共交通への公的資金投入額を現状（令和４（2022）年度）の 298,601 千円／年度から令和 10（2028）年度に 345,676 千円／年度以下にする。

（北海道胆振地域公共交通計画 P179 参照）

（２）事業の効果

地域間幹線系統と結ばれている他のバス路線を含め、住民の生活交通手段として必要不可欠な公共交通機関であるバス路線が地域全体で確保・維持される。

３．２.の目標を達成するために行う事業及びその実施主体

（１） 公共交通を担う人材の確保に向けた魅力発信や自治体施策との連携

・交通事業者合同就職説明会や運転体験会等の開催【北海道、市町、交通事業者】

・交通事業者合同就職説明会等の場において、移住施策との連携（移住・定住ポータルサイトの活用）【北海道、市町】

・事業者の取組への協力【北海道、市町】

・資格取得支援制度や研修制度等の実施【交通事業者】

（２）地域内外に向けた情報提供の継続的な実施

・路線バスと鉄道等の総合時刻表の作成・配布【北海道、市町、交通事業者】

・バスの乗り方教室の開催【北海道、市町、交通事業者】

・バスを利用した本地域散策イベントの開催【北海道、市町、交通事業者】

・ノーカーデーの実施【北海道、市町】

・バスロケーションシステム（バスキタ！道南バス）の周知・利用促進【交通事業者】

・路線や時刻表をホームページに掲載するとともに、観光施設や公共施設で継続的な配布【交通事業者】

（３）広域交通等の維持・最適化に向けた連携体制の構築による取組の推進

・市町、交通事業者との調整【北海道】

・協議会総会、幹事会、分科会の運営・参加【北海道、市町、交通事業者】

・交通事業者との個別協議の実施【市町】

・研修会への参加【市町】

・協議会総会、幹事会、分科会等での利用状況及び運行状況の報告【交通事業者】

（４）広域交通等の利用実態を踏まえた路線最適化の実施

・路線の維持及び持続可能な移動手段の確保のための最適化に係る検討・協議・実施【北海道、市町、交通事業者】

・交通事業者からの利用データ提供・取得、利用状況のモニタリング【北海道、市町、交通事業者】

・バス路線維持確保に向けた適切な支援の枠組みの検討・実施【北海道、市町】

・必要に応じた交通事業者に対する路線見直しの打診【市町】

・コミュニティ交通の運行内容検討・運行維持確保【市町】

・各市町の地域公共交通活性化協議会等の開催・協議【市町】

・必要に応じたモビリティの安全な運行【交通事業者】

・業務のさらなる効率化の検討・実施【交通事業者】

・バス路線の維持確保に向けた適切な支援の要望に必要な取組の実施【交通事業者】

（北海道胆振地域公共交通計画 P168～178 参照）

４.地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運送予定者

表１のとおり

５.地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額

表２のとおり

６．２．の目標・効果の評価手法及び測定方法

交通事業者等からの利用データ提供によるモニタリング

7.別表１の補助対象事業の基準ホただし書に基づき、協議会が平日１日当たりの運行回数が３回以上で足りると認めた系統の概要【地域間幹線系統のみ】
該当なし
8.別表１の補助対象事業の基準二に基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」と認めた市町村の一覧【地域間幹線系統のみ】
表４のとおり
９．生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその特記事項【地域間幹線系統のみ】
別紙「生産性の向上の取組について」のとおり
10. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要【地域内フィーダー系統のみ】
該当なし
11. 車両の取得に係る目的・必要性【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
該当なし
12. 車両の取得に係る定量的な目標・効果【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
（１）事業の目標
該当なし
（２）事業の効果
該当なし
13. 車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う事業者又は地方公共団体・要する費用の総額、負担者とその負担額【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
該当なし
14. 老朽更新の代替による費用の削減等による地域公共交通確保維持事業における収支の改善に係る計画（車両の代替による費用削減等の内容、代替車両を活用した利用促進策）【公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
該当なし
15. 貨客混載の導入に係る目的・必要性【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
該当なし
16. 貨客混載の導入に係る定量的な目標・効果【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
（１）事業の目標
該当なし
（２）事業の効果
該当なし

17. 貨客混載の導入に係る計画の概要、要する費用の総額、内訳、負担者及び負担額【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

該当なし

18. 協議会の開催状況と主な議論

【令和６年度】
第１回総会（令和６年６月４日）
・令和５年度事業報告・決算案、令和６年度事業計画・予算案等について協議
第２回総会（書面開催：令和６年７月２４日評決）
・地域間幹線系統確保維持地域計画の策定等について協議
第３回総会（書面開催：令和６年９月１１日評決）
・地域間幹線系統確保維持地域計画の変更等について協議
第４回総会（書面開催：令和７年１月２８日評決）
・令和６年度各種施策進捗状況、令和７年度取組予定施策等について協議
【令和７年度】
第１回総会（令和７年６月３日）
・令和６年度事業報告・決算案、令和７年度事業計画・予算案等について協議
第２回総会（書面開催：令和７年６月２６日評決）
・地域間幹線系統確保維持地域計画の策定等について協議
第３回総会（書面開催：令和８年１月７日評決）
・地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価等について協議
第４回総会（書面開催：令和８年３月１９日評決）
・令和７年度各種施策進捗状況、令和８年度取組予定施策等について協議

19. 利用者等の意見の反映状況

地域住民を対象としたアンケート調査のほか、利用実態調査を行った。アンケート調査の結果、公共交通に対する考え方として、目的地に到着してほしい時間帯に利用できること、分かりやすい路線図や時刻表が整理されていることについての回答が多く、また、ほぼ全ての系統で通勤・通学目的で利用されている。

上記結果を受け、より実態に即した運行内容に再編を行っていくとともに、よりシームレスに公共交通を利用できる環境整備に重点を置いた計画とした。

【本計画に関する担当者：連絡先】
（住　所）北海道室蘭市海岸町１丁目４番１号
（所　属）北海道胆振総合振興局地域創生部地域政策課
（氏　名）松本　陸
（電　話）０１４３－２４－９５６８
（メール）matsumoto.riku@pref.hokkaido.lg.jp

表１　確保・維持する地域間幹線系統の概要

協議会名	運行予定者名	申請番号	運行系統名（申請番号）	確保維持事業に要する国庫補助額（千円）	特例	備考
北海道胆振地域公共交通活性化協議会	道南バス（株）	第１号	室蘭市内線②	643		
		第２号	登別・苫小牧線	5,787		
		第３号	室蘭・洞爺湖線①	11,780.5		
		第４号	室蘭・洞爺湖線②	24,676		
		第５号	室蘭・伊達線	6,436.5		
		第６号	日高沿岸線①	13,376		日高地域法定協議会より新ひだか町（静内町）、新冠町、日高町（門別町）運行分については別途計画認定申請予定
		第７号	胆振線	9,976		
		第８号	洞爺湖温泉線	1,952.5		
		第９号	室蘭・登別温泉線	400.5		
		第１０号	洞爺湖温泉線②	2,785.5		
	あつまバス㈱	第１１号	千歳線	2,185.5		さっぽろ連携中枢都市圏地域法定協議会より千歳市運行分については別途計画認定申請予定
		第１２号	苫小牧線①	6,327		
		第１３号	苫小牧線②	5,553		
		第１４号	苫小牧線③	5,110.5		
				96,989 千円		

表2　地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額（地域間幹線系統用）

事業者名	道南バス株式会社

令和　9　年度

1．申請事業者の概要

補助対象期間の前々年度(基準期間※)の損益状況	乗合バス事業					
	営業収益	2,574,165 千円	営業外収益	38,853 千円	経常収益(イ)	2,613,018 千円
	営業費用	3,419,487 千円	営業外費用	25,247 千円	経常費用(ロ)	3,444,734 千円
	営業損益	△ 845,322 千円	営業外損益	13,606 千円	経常損益	△ 831,716 千円
					経常収支率	75.86 %
補助対象期間の前々年度の実車走行キロ(ハ)	km 8,212,661.9					

基準期間の前年度の損益状況	乗合バス事業					
	営業収益	2,418,936 千円	営業外収益	54,627 千円	経常収益(イ')	2,473,563 千円
	営業費用	3,422,893 千円	営業外費用	32,251 千円	経常費用(ロ')	3,455,144 千円
	営業損益	△ 1,003,957 千円	営業外損益	22,376 千円	経常損益	△ 981,581 千円
					経常収支率	71.59 %
基準期間の前年度の実車走行キロ(ハ')	km 9,094,057.9					

基準期間の前々年度の損益状況	乗合バス事業					
	営業収益	2,124,042 千円	営業外収益	30,208 千円	経常収益(イ")	2,154,250 千円
	営業費用	3,350,042 千円	営業外費用	21,816 千円	経常費用(ロ")	3,371,858 千円
	営業損益	△ 1,226,000 千円	営業外損益	8,392 千円	経常損益	△ 1,217,608 千円
					経常収支率	63.89 %
基準期間の前々年度の実車走行キロ(ハ")	km 9,459,719.1					

（補助対象事業者の「基準期間※を最終年度とする連続した過去3年間」における実車走行キロ当たり経常費用等）

補助ブロック名	補助対象事業者の実車走行キロ当たり経常費用（基準期間の前々年度）ロ"÷ハ"＝a	補助対象事業者の実車走行キロ当たり経常費用（基準期間の前年度）ロ'÷ハ'＝b	補助対象事業者の実車走行キロ当たり経常費用（基準期間）ロ÷ハ＝c
南北海道	356 円　44 銭	379 円　93 銭	419 円　44 銭
	円　銭	円　銭	円　銭

※「基準期間」とは、補助対象期間の前々年度の補助対象期間をいう。

2．キロ当たり補助対象経常費用及び経常収益

補助ブロック名	補助対象事業者の実車走行キロ当たり経常費用 (a+b+c)/3 = ニ	地域キロ当たり標準経常費用 ホ	キロ当たり経常費用 ニとホのいずれか少ない額 ヘ	キロ当たり経常費用の差 ニ－ヘ = ケ	キロ当たり経常収益 イ÷ハ = ト
南北海道	385 円　27 銭	479 円　80 銭	385 円　27 銭	0 円　0 銭	318 円　16 銭
	円　銭	円　銭	0 円　0 銭	円　銭	円　銭

3．旅客運賃の上限変更認可状況

補助ブロック名	認可日	認可を受けた補助対象期間	補助金交付要綱別表2(注)4．の適用割合 フ	改定率 コ
南北海道	令和7年2月20日	基準期間の 当　年度	3 ／3	11.51%
		基準期間の　年度	／3	
		基準期間の　年度	／3	

令和10年度、令和11年度については、令和9年度事業から土日・祝日の日数による運行回数等の違いを除き、変更がないため省略。

4. 補助対象系統ごとに要する費用、負担者とその負担割合

補助ブロック名	申請番号	特例措置	運行系統名	運行系統 起点	運行系統 主な経由地	運行系統 終点	計画運行日数	計画運行回数 ( ) ①＝カッコ内	計画平均乗車密度 ②	計画輸送量 ①×②＝③	系統キロ程 チ		地域公共交通再編事業を実施する区域におけるキロ程 オ		系統キロ程と地域公共交通再編事業を実施する区域におけるキロ程との比率 オ÷チ＝ク	補助ブロック外乗入部分のキロ程 リ		同一補助ブロック都道府県外乗入部分のキロ程 ヌ		他路線との競合部分に係るキロ程 ル		他路線との競合率 ル÷チ	補助ブロック外乗入部分、同一補助ブロック都道府県外乗入部分及び他路線との競合部分以外のキロ程の比率 (チ−(リ＋ヌ＋ル))÷チ＝ヲ
南北海道	第1号		室蘭市内線2	東町ターミナル	汐平団地	資料館前	361 日	1384.5 回 (3.7)	5.1	18.8 人	往13.3Km 復13.3Km	(平均) 13.3Km		(平均) 0.0Km	0.000%		(平均) 0.0Km		(平均) 0.0Km	往8.0Km 復8.0Km	(平均) 8.0Km	60.150%	39.849%
南北海道	第2号		登別−苫小牧線	登別温泉	登別駅前	苫小牧駅前	365 日	1816.0 回 (4.9)	12.3	60.2 人	往49.4Km 復49.4Km	(平均) 49.4Km		(平均) 0.0Km	0.000%		(平均) 0.0Km		(平均) 0.0Km		(平均) 0.0Km	0.000%	100.000%
南北海道	第3号		登別−伊達線3	登別温泉	仕置役場前	富岡駅前広場	365 日	1267.0 回 (3.4)	9.6	32.6 人	往61.3km 復61.2km	(平均) 61.2Km		(平均) 0.0Km	0.000%		(平均) 0.0Km		(平均) 0.0Km		(平均) 0.0Km	0.000%	100.000%
南北海道	第4号		登別−伊達線2	登別温泉	虻田高校	富岡駅前広場	365 日	2357.0 回 (6.4)	10.5	67.2 人	往62.7km 復62.6km	(平均) 62.6Km		(平均) 0.0Km	0.000%		(平均) 0.0Km		(平均) 0.0Km		(平均) 0.0Km	0.000%	100.000%
南北海道	第5号		室蘭−伊達線	東町ターミナル	日赤前	伊達駅前	365 日	1095.0 回 (3.0)	8.7	26.1 人	往42.1km 復42.2km	(平均) 42.1Km		(平均) 0.0Km	0.000%		(平均) 0.0Km		(平均) 0.0Km		(平均) 0.0Km	0.000%	100.000%
南北海道	第6号		日高自昇線①	静内	………	苫小牧駅前	365 日	1875.0 回 (5.1)	11.8	60.1 人	往88.5km 復88.3km	(平均) 88.4Km		(平均) 0.0Km	0.000%		(平均) 0.0Km	往42.8km 復42.8km	(平均) 42.8Km		(平均) 0.0Km	0.000%	51.583%
南北海道	第7号		胆振線	伊達駅前	日胆−久保内	大滝本町東団地	365 日	1923.0 回 (5.2)	4.2	21.8 人	往38.9km 復38.9km	(平均) 38.9Km		(平均) 0.0Km	0.000%		(平均) 0.0Km		(平均) 0.0Km		(平均) 0.0Km	0.000%	100.000%
南北海道	第8号		洞爺湖温泉線	東町	洞爺湖温泉	洞爺駅前	361 日	1444.0 回 (3.9)	5.7	22.2 人	往8.3km 復8.3km	(平均) 8.3Km		(平均) 0.0Km	0.000%		(平均) 0.0Km		(平均) 0.0Km		(平均) 0.0Km	0.000%	100.000%
南北海道	第9号		室蘭−登別温泉線	東町ターミナル	汐平団地	登別温泉	365 日	3023.5 回 (8.2)	13.2	108.2 人	往36.1Km 復36.3Km	(平均) 36.2Km		(平均) 0.0Km	0.000%		(平均) 0.0Km		(平均) 0.0Km	往24.1Km 復24.1Km	(平均) 24.1Km	66.574%	33.425%
南北海道	第10号		洞爺湖温泉線2	昭和新山	虻田高校	洞爺駅前	365 日	1821.0 回 (4.9)	9.7	47.5 人	往15.3Km 復15.3Km	(平均) 15.3Km		(平均) 0.0Km	0.000%		(平均) 0.0Km		(平均) 0.0Km		(平均) 0.0Km	0.000%	100.000%
合計			#####								往415.9km 復415.8km	479.5km	往 . Km 復 . Km	. Km		往 . Km 復 . Km	. Km	往42.8km 復42.8km	42.8km	往32.1km 復32.1km	32.1km		

補助ブロック名	申請番号	特例措置	補助ブロック外乗入部分及び同一補助ブロック都道府県外乗入部分以外のキロ程の比率 (チ−(リ＋ヌ))÷チ＝ヲ′	計画実車走行キロ ワ	補助対象経常費用の見込額 ヘ×ワ以下の額:カ	補助対象経常収益の見込額 ノとノ″のいずれか少ない額 ノ	補助対象系統のキロ当たり経常収益												補助対象経常収益の見込額 ノ×ワ以上の額:ヨ
							補助金交付要綱別表2(注)4. の適用がある場合			3カ年平均	基準期間の前々年度			基準期間の前年度			基準期間			
							基準期間における実車走行キロ当たり経常収益の運賃改定による増収分 f×コ÷(1＋コ)×フ＝g	経常収益控除額 ケgのいずれか少ない額 h	補助金交付要綱別表2(注)4. の適用後のキロ当たり経常収益 ノ′−h＝ノ″	(d+e+f)/3 ＝ノ′	経常収益 ヤ″	実車走行キロ マ″	補助対象系統の実車走行キロ当たり経常収益 ヤ″÷マ″＝d	経常収益 ヤ′	実車走行キロ マ′	補助対象系統の実車走行キロ当たり経常収益 ヤ′÷マ′＝e	経常収益 ヤ	実車走行キロ マ	補助対象系統の実車走行キロ当たり経常収益 ヤ÷マ＝f	
南北海道	第1号	0	100.000%	36,827.7 km	14,188,607円	297円.62銭	29円.36銭	0円.00銭	297円.62銭	297円.62銭	21,164,888円	77,166.6 km	274円.27銭	22,565,446円	67,537.4 km	334円.11銭	12,263,461円	43,105.3 km	284円.50銭	10,960,660 円
南北海道	第2号	0	100.000%	179,420.8 km	69,125,451円	320円.76銭	39円.38銭	0円.00銭	320円.76銭	320円.76銭	56,158,487円	191,377.0 km	293円.44銭	55,687,335円	193,856.5 km	287円.26銭	75,297,976円	197,324.2 km	381円.59銭	57,551,015 円
南北海道	第3号	0	100.000%	155,225.5 km	59,803,728円	233円.48銭	28円.78銭	0円.00銭	233円.48銭	233円.48銭	40,913,041円	220,857.9 km	185円.24銭	52,287,965円	221,215.6 km	236円.36銭	43,184,958円	154,869.0 km	278円.84銭	36,242,049 円
南北海道	第4号	0	100.000%	295,314.1 km	113,775,663円	218円.15銭	31円.55銭	0円.00銭	218円.15銭	218円.15銭	49,424,459円	320,447.1 km	154円.23銭	58,003,788円	298,210.1 km	194円.50銭	91,096,636円	297,967.7 km	305円.72銭	64,422,770 円
南北海道	第5号	0	100.000%	92,308.5 km	35,563,695円	245円.81銭	27円.94銭	0円.00銭	245円.81銭	245円.81銭	22,808,332円	107,758.8 km	211円.66銭	27,458,923円	107,677.8 km	255円.01銭	24,975,802円	92,242.4 km	270円.76銭	22,690,352 円
南北海道	第6号	0	51.583%	332,780.4 km	128,210,304円	229円.42銭	31円.16銭	0円.00銭	229円.42銭	229円.42銭	61,468,162円	331,863.0 km	185円.22銭	66,743,300円	331,922.7 km	201円.08銭	99,893,391円	330,810.0 km	301円.96銭	76,346,479 円
南北海道	第7号	0	100.000%	149,609.4 km	57,640,013円	129円.76銭	15円.63銭	0円.00銭	129円.76銭	129円.76銭	18,306,953円	148,878.9 km	122円.96銭	17,134,850円	149,227.2 km	114円.82銭	22,725,737円	149,994.0 km	151円.51銭	19,413,315 円
南北海道	第8号	0	100.000%	25,270.0 km	9,735,772円	230円.70銭	27円.88銭	0円.00銭	230円.70銭	230円.70銭	6,488,992円	40,758.2 km	159円.20銭	9,333,855円	35,522.6 km	262円.75銭	14,770,351円	54,671.2 km	270円.16銭	5,829,789 円
南北海道	第9号	0	100.000%	218,925.5 km	84,345,427円	374円.32銭	49円.27銭	0円.00銭	374円.32銭	374円.32銭	58,246,967円	209,245.0 km	278円.36銭	74,890,455円	203,909.9 km	367円.27銭	105,884,723円	221,814.9 km	477円.35銭	81,948,193 円
南北海道	第10号	0	100.000%	55,722.6 km	21,468,246円	285円.29銭	46円.62銭	0円.00銭	285円.29銭	285円.29銭	6,446,913円	41,357.8 km	155円.88銭	10,572,733円	42,581.0 km	248円.29銭	29,041,025円	64,291.8 km	451円.70銭	15,897,100 円
合計				1,541,404.5 km	593,856,906円						341,427,194円	1,689,710.3 km		394,678,650円	1,651,660.8 km		519,134,060円	1,607,090.5 km		391,301,722 円

補助ブロック名	申請番号	特例措置	補助対象経常費用から経常収益を控除した額 カーヨ＝タ	補助対象経費の限度額 カ×9/20＝レ	タ又はレのうちいずれか少ないほうの額 ソ	ソのうち補助ブロック外乗入部分、同一補助ブロック都道府県外乗入部分及び他路線との競合部分以外に係る ソ×ヲ＝ツ	ソのうち補助ブロック外乗入部分及び同一補助ブロック都道府県外乗入部分以外に係るもの ソ×ヲ′＝ツ′	計画平均乗車密度が5人未満の路線 ツ×みなし運行回数／①計画運行回数＝ネ	補助対象経費 ナ	計画額 ナ×1/2＝ラ	経常費用から経常収益を控除した額 ニ×ワーヨ＝ム	損失額から国庫補助額を控除した額 ムーラ＝ウ
南北海道	第1号	0	3,227,947 円	6,384,873 円	3,227,947 円	1,286,304 円	3,227,947 円	1,286,304 円	1,286 千円	643.0 千円	3,227,947 円	2,584,947 円
南北海道	第2号	0	11,574,436 円	31,106,452 円	11,574,436 円	11,574,436 円	11,574,436 円	11,574,436 円	11,574 千円	5,787.0 千円	11,574,436 円	5,787,436 円
南北海道	第3号	0	23,561,679 円	26,911,677 円	23,561,679 円	23,561,679 円	23,561,679 円	23,561,679 円	23,561 千円	11,780.5 千円	23,561,679 円	11,781,179 円
南北海道	第4号	0	49,352,893 円	51,199,048 円	49,352,893 円	49,352,893 円	49,352,893 円	49,352,893 円	49,352 千円	24,676.0 千円	49,352,893 円	24,676,893 円
南北海道	第5号	0	12,873,343 円	16,003,662 円	12,873,343 円	12,873,343 円	12,873,343 円	12,873,343 円	12,873 千円	6,436.5 千円	12,873,343 円	6,436,843 円
南北海道	第6号	0	51,863,825 円	57,694,636 円	51,863,825 円	26,752,916 円	26,752,916 円	26,752,916 円	26,752 千円	13,376.0 千円	51,863,825 円	38,487,825 円
南北海道	第7号	0	38,226,698 円	25,938,005 円	25,938,005 円	25,938,005 円	25,938,005 円	19,952,311 円	19,952 千円	9,976.0 千円	38,226,698 円	28,250,698 円
南北海道	第8号	0	3,905,983 円	4,381,097 円	3,905,983 円	3,905,983 円	3,905,983 円	3,905,983 円	3,905 千円	1,952.5 千円	3,905,983 円	1,953,483 円
南北海道	第9号	0	2,397,234 円	37,955,442 円	2,397,234 円	801,275 円	2,397,234 円	801,275 円	801 千円	400.5 千円	2,397,234 円	1,996,734 円
南北海道	第10号	0	5,571,146 円	9,660,710 円	5,571,146 円	5,571,146 円	5,571,146 円	5,571,146 円	5,571 千円	2,785.5 千円	5,571,146 円	2,785,646 円
合計			202,555,184 円	267,235,602 円	190,266,491 円	161,617,980 円	165,155,582 円	155,632,286 円	155,627 千円	77,813 千円	202,555,184 円	124,741,684 円

補助ブロック名	申請番号	特例措置	ウの負担者とその負担割合								
			都道府県		市区町村		その他の者		事業者自己負担		「その他の者」の具体的概要
			負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合	
南北海道	第1号	0	643,000円	24.9%		0.0%		0.0%	1,941,947円	75.1%	
南北海道	第2号	0	5,787,000円	100.0%		0.0%		0.0%	436円	0.0%	
南北海道	第3号	0	11,780,500円	100.0%		0.0%		0.0%	679円	0.0%	
南北海道	第4号	0	24,676,000円	100.0%		0.0%		0.0%	893円	0.0%	
南北海道	第5号	0	6,436,500円	100.0%		0.0%		0.0%	343円	0.0%	
南北海道	第6号	0	13,376,000円	34.8%		0.0%		0.0%	25,111,825円	65.2%	
南北海道	第7号	0	9,976,000円	35.3%	18,274,698円	64.7%		0.0%	0円	0.0%	
南北海道	第8号	0	1,952,500円	99.9%		0.0%		0.0%	983円	0.1%	
南北海道	第9号	0	400,500円	20.1%		0.0%		0.0%	1,596,234円	79.9%	
南北海道	第10号	0	2,785,500円	100.0%		0.0%		0.0%	146円	0.0%	
合計			77,813,500円	62.4%	18,274,698円	14.7%	0円	0.0%	28,653,486円	23.0%	

表2　地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額（地域間幹線系統用）

事業者名	あつまバス株式会社

令和　9　年度

1．申請事業者の概要

補助対象期間の前々年度(基準期間※)の損益状況	乗合バス事業					
	営業収益	69,871 千円	営業外収益	69 千円	経常収益(イ)	69,940 千円
	営業費用	127,566 千円	営業外費用	378 千円	経常費用(ロ)	127,944 千円
	営業損益	△ 57,695 千円	営業外損益	△ 309 千円	経常損益	△ 58,004 千円
					経常収支率	54.66 %
補助対象期間の前々年度の実車走行キロ(ハ)	km 394,904.3					

基準期間の前年度の損益状況	乗合バス事業					
	営業収益	69,245 千円	営業外収益	24 千円	経常収益(イ')	69,269 千円
	営業費用	122,068 千円	営業外費用	510 千円	経常費用(ロ')	122,578 千円
	営業損益	△ 52,823 千円	営業外損益	△ 486 千円	経常損益	△ 53,309 千円
					経常収支率	56.51 %
基準期間の前年度の実車走行キロ(ハ')	km 395,517.5					

基準期間の前々年度の損益状況	乗合バス事業					
	営業収益	68,559 千円	営業外収益	26 千円	経常収益(イ")	68,585 千円
	営業費用	121,318 千円	営業外費用	354 千円	経常費用(ロ")	121,672 千円
	営業損益	△ 52,759 千円	営業外損益	△ 328 千円	経常損益	△ 53,087 千円
					経常収支率	56.37 %
基準期間の前々年度の実車走行キロ(ハ")	km 395,150.6					

（補助対象事業者の「基準期間※を最終年度とする連続した過去3年間」における実車走行キロ当たり経常費用等）

補助ブロック名	補助対象事業者の実車走行キロ当たり経常費用（基準期間の前々年度）ロ"÷ハ"＝a	補助対象事業者の実車走行キロ当たり経常費用（基準期間の前年度）ロ'÷ハ'＝b	補助対象事業者の実車走行キロ当たり経常費用（基準期間）ロ÷ハ＝c
南北海道	307 円　91 銭	309 円　91 銭	323 円　98 銭
	円　銭	円　銭	円　銭

※「基準期間」とは、補助対象期間の前々年度の補助対象期間をいう。

2．キロ当たり補助対象経常費用及び経常収益

補助ブロック名	補助対象事業者の実車走行キロ当たり経常費用 (a+b+c)/3 = ニ	地域キロ当たり標準経常費用 ホ	キロ当たり経常費用 ニとホのいずれか少ない額 ヘ	キロ当たり経常費用の差 ニ－ヘ = ケ	キロ当たり経常収益 イ÷ハ = ト
南北海道	313 円　93 銭	479 円　80 銭	313 円　93 銭	0 円　0 銭	177 円　10 銭
	円　銭	円　銭	0 円　0 銭	円　銭	円　銭

3．旅客運賃の上限変更認可状況

補助ブロック名	認可日	認可を受けた補助対象期間	補助金交付要綱別表2(注)4．の適用割合 フ	改定率 コ
		基準期間の　年度	／3	
		基準期間の　年度	／3	
		基準期間の　年度	／3	

4．補助対象系統ごとに要する費用、負担者とその負担割合

補助ブロック名	申請番号	特例措置	運行系統名	運行系統 起点	運行系統 主な経由地	運行系統 終点	計画運行日数	計画運行回数 ①＝カッコ内	計画平均乗車密度 ②	計画輸送量 ①×②＝③	系統キロ程 チ		地域公共交通再編事業を実施する区域におけるキロ程 オ		系統キロ程と地域公共交通再編事業を実施する区域におけるキロ程との比率 オ÷チ＝ク	補助ブロック外乗入部分のキロ程 リ		同一補助ブロック都道府県外乗入部分のキロ程 ヌ		他路線との競合部分に係るキロ程 ル		他路線との競合率 ル÷チ	補助ブロック外乗入部分、同一補助ブロック都道府県外乗入部分及び他路線との競合部分以外のキロ程の比率 （チ－(リ＋ヌ＋ル)）÷チ＝ヲ
南北海道	第11号		千歳線	厚真	早来	千歳駅前	365 日	1095.0 回 (3.0)	5.2	15.6 人	往36.9Km 復36.3Km	(平均) 36.6Km		(平均) 0.0Km	0.000%		(平均) 0.0Km	往19.5Km 復19.5Km	(平均) 19.5Km		(平均) 0.0Km	0.000%	46.721%
南北海道	第12号		苫小牧線①	厚真	上厚真	苫小牧駅前	365 日	1095.0 回 (3.0)	5.2	15.6 人	往41.2Km 復41.2Km	(平均) 41.2Km		(平均) 0.0Km	0.000%		(平均) 0.0Km		(平均) 0.0Km		(平均) 0.0Km	0.000%	100.000%
南北海道	第13号		苫小牧線②	厚真	緑小	苫小牧駅前	365 日	1095.0 回 (3.0)	5.1	15.3 人	往36.2km 復35.6km	(平均) 35.9Km		(平均) 0.0Km	0.000%		(平均) 0.0Km		(平均) 0.0Km		(平均) 0.0Km	0.000%	100.000%
南北海道	第14号		苫小牧線③	厚真	日軽金	苫小牧駅前	365 日	1095.0 回 (3.0)	5.2	15.6 人	往34.5km 復33.9km	(平均) 34.2Km		(平均) 0.0Km	0.000%		(平均) 0.0Km		(平均) 0.0Km		(平均) 0.0Km	0.000%	100.000%
合計			4系統								往148.8km 復147.0km	147.9km	往 . Km 復 . Km	. Km		往 . Km 復 . Km	. Km	往19.5km 復19.5km	19.5km	往 . Km 復 . Km	. Km		

補助ブロック名	申請番号	特例措置	補助ブロック外乗入部分及び同一補助ブロック都道府県外乗入部分以外のキロ程の比率 (チ−(リ＋ヌ))÷チ＝ヲ’	計画実車走行キロ ワ	補助対象経常費用の見込額 ヘ×ワ以下の額：カ	補助対象系統のキロ当たり経常収益													補助対象経常収益の見込額 ノ×ワ以上の額：ヨ
							補助金交付要綱別表2（注）4．の適用がある場合			3カ年平均	基準期間の前々年度			基準期間の前年度			基準期間			
						ノとノ”のいずれか少ない額 ノ	基準期間における実車走行キロ当たり経常収益の運賃改定による増収分 f×コ÷(1＋コ)×フ＝g	経常収益控除額ケとgのいずれか少ない額 h	補助金交付要綱別表2（注）4．の適用後のキロ当たり経常収益 ノ−h＝ノ”	(d+e+f)/3＝ノ’	経常収益 ヤ”	実車走行キロ マ”	補助対象系統の実車走行キロ当たり経常収益 ヤ”÷マ”＝d	経常収益 ヤ’	実車走行キロ マ’	補助対象系統の実車走行キロ当たり経常収益 ヤ’÷マ’＝e	経常収益 ヤ	実車走行キロ マ	補助対象系統の実車走行キロ当たり経常収益 ヤ÷マ＝f	
南北海道	第11号	0	46.721%	80,154.0 km	25,162,745円	197円.20銭	0円.00銭	0円.00銭	197円.20銭	197円.20銭	15,540,254円	80,154.0 km	193円.87銭	15,740,418円	80,373.6 km	195円.84銭	16,182,600円	80,154.0 km	201円.89銭	15,806,368 円
南北海道	第12号	0	100.000%	89,580.0 km	28,121,849円	147円.45銭	0円.00銭	0円.00銭	147円.45銭	147円.45銭	12,825,272円	89,590.8 km	143円.15銭	13,251,675円	89,827.2 km	147円.52銭	13,566,637円	89,426.0 km	151円.70銭	13,208,571 円
南北海道	第13号	0	100.000%	78,621.0 km	24,681,490円	170円.21銭	0円.00銭	0円.00銭	170円.21銭	170円.21銭	13,121,114円	78,621.0 km	166円.89銭	13,593,630円	78,836.4 km	172円.42銭	13,470,594円	78,621.0 km	171円.33銭	13,382,080 円
南北海道	第14号	0	100.000%	74,898.0 km	23,512,729円	177円.46銭	0円.00銭	0円.00銭	177円.46銭	177円.46銭	12,676,511円	74,898.0 km	169円.25銭	13,612,634円	75,103.2 km	181円.25銭	13,610,405円	74,829.6 km	181円.88銭	13,291,399 円
合計				323,253.0 km	101,478,813円						54,163,151円	323,263.8 km		56,198,357円	324,140.4 km		56,830,236円	323,030.6 km		55,688,418 円

補助ブロック名	申請番号	特例措置	補助対象経常費用から経常収益を控除した額 カ−ヨ＝タ	補助対象経費の限度額 カ×9/20＝レ	タ又はレのうちいずれか少ないほうの額 ソ	ソのうち補助ブロック外乗入部分、同一補助ブロック都道府県外乗入部分及び他路線との競合部分以外に係る部分 ソ×ヲ＝ツ	ソのうち補助ブロック外乗入部分及び同一補助ブロック都道府県外乗入部分以外に係るもの ソ×ヲ’＝ツ’	計画平均乗車密度が5人未満の路線 ツ×みなし運行回数／①計画運行回数＝ネ	補助対象経費 ナ	計画額 ナ×1/2＝ラ	経常費用から経常収益を控除した額 ニ×ワ−ヨ＝ム	損失額から国庫補助額を控除した額 ムーラ＝ウ
南北海道	第11号	0	9,356,377 円	11,323,235 円	9,356,377 円	4,371,392 円	4,371,392 円	4,371,392 円	4,371 千円	2,185.5 千円	9,356,377 円	7,170,877 円
南北海道	第12号	0	14,913,278 円	12,654,832 円	12,654,832 円	12,654,832 円	12,654,832 円	12,654,832 円	12,654 千円	6,327.0 千円	14,913,278 円	8,586,278 円
南北海道	第13号	0	11,299,410 円	11,106,670 円	11,106,670 円	11,106,670 円	11,106,670 円	11,106,670 円	11,106 千円	5,553.0 千円	11,299,410 円	5,746,410 円
南北海道	第14号	0	10,221,330 円	10,580,728 円	10,221,330 円	10,221,330 円	10,221,330 円	10,221,330 円	10,221 千円	5,110.5 千円	10,221,330 円	5,110,830 円
合計			45,790,395 円	45,665,465 円	43,339,209 円	38,354,224 円	38,354,224 円	38,354,224 円	38,352 千円	19,176 千円	45,790,395 円	26,614,395 円

補助ブロック名	申請番号	特例措置	ウの負担者とその負担割合								
			都道府県		市区町村		その他の者		事業者自己負担		「その他の者」の具体的概要
			負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合	
南北海道	第11号	0	2,185,500円	30.5%		0.0%		0.0%	4,985,377円	69.5%	
南北海道	第12号	0	6,327,000円	73.7%		0.0%		0.0%	2,259,278円	26.3%	
南北海道	第13号	0	5,553,000円	96.6%		0.0%		0.0%	193,410円	3.4%	
南北海道	第14号	0	5,110,500円	100.0%		0.0%		0.0%	330円	0.0%	
合計			19,176,000円	72.1%	0円	0.0%	0円	0.0%	7,438,395円	27.9%	

表４　地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱別表１及び別表3の補助事業の基準ハに基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」と認めた市町村の一覧

協議会名	広域行政圏名	市町村名	指定の理由
胆振地域公共交通活性化協議会	西胆振広域市町村圏	伊達市	人口、商業施設は圏域内市町村の中で高い割合を占め、地域の核となる総合病院（地域センター病院：伊達赤十字病院）など医療施設や行政機関が集積し、当該地域の中心的な都市（まち）となっている。
	西胆振広域市町村圏	洞爺湖町（※虻田町）	交通の要衝となっており、人口、商業施設は圏域内町村の中で最も高い割合を占め、地域の核となる総合病院（洞爺協会病院）が所在するなど、当該地域の中心的な町となっている。 ※平成18年3月27日合併

別　紙　「生産性向上の取組について」

年度	番号	系統名	広域行政圏名	中心市町村名	起点	経由地	終点	令和８年度計画内容（当初）		【中間点検】令和８年度計画内容（原則、令和８年３月末時点）			令和９年度計画内容				備考
								生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、実施時期	生産性向上の取組に係る定量的な効果目標	生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、実施時期	効果目標の達成状況	備考	生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、実施時期	生産性向上の取組に係る定量的な効果目標	令和７年度の収支率（実績値）	中間点検時点（原則、令和８年３月末時点）での収支率	令和９年度計画の収支率	
R9	1	室蘭市内線②	西胆振広域市町村圏	室蘭市	東町3-1ｵﾙ	汐平団地	資料館前	（利用促進） ・各町ＨＰと運南バスＨＰの相互リンク又は路線図・時刻表の掲載は継続実施。 ・運南バス及び各市町が行う運行情報の提供や啓発・周知活動等の取組については継続実施。 【室蘭市・運南バス】 ・小学生や高齢者に対象を絞らず、幅広い年代を対象に商業施設においてバスの乗り方などの体験乗車会（「バスの乗り方教室」）を実施。 【登別市・運南バス】 ・登別市で開催される「リサイクルまつり゛２６イン登別・白老」会場に運南バスの車両を駐留して、バスの乗り方などの体験試乗会の実施（2026年7月開催時） （利便性向上） 【運南バス】 ・バス停留所待合室の現状確認を定期的に行い、修繕や清掃の実施・検討。	（利用促進） 公共交通のＰＲ等の取組強化による増収を見込む。 【基準年：令和8年3月末時点（令和６年度実績）】 ・経常収益　22,565,446円 ・経常費用　25,659,484円 ・収支率　▲3,094,038円 ・収支率　87.9% 【取組目標年：令和８補助年度】 ・経常収益　22,812,526円（約247千円増加） ・経常費用　25,659,484円（増減なし） ・経常収支　▲2,846,958円 ・収支率　88.9%（収支改善率1.0%）	（利用促進） ・各町ＨＰと運南バスＨＰの相互リンク又は路線図・時刻表の掲載は継続実施。 ・運南バス及び各市町が行う運行情報の提供や啓発・周知活動等の取組については継続実施。 【室蘭市・運南バス】 ・小学生や高齢者に対象を絞らず、幅広い年代を対象に商業施設においてバスの乗り方などの体験乗車会（「バスの乗り方教室」）を実施。 【登別市・運南バス】 ・登別市で開催される「リサイクルまつり゛２６イン登別・白老」会場に運南バスの車両を駐留して、バスの乗り方などの体験試乗会の実施（2026年7月開催時） （利便性向上） 【運南バス】 ・バス停留所待合室の現状確認を定期的に行い、修繕や清掃の実施・検討。	【R7見込額】R8.3月末時点 ・経常収益　8,436,035円 ・経常費用　15,390,067円 ・経常収支　▲6,944,032円 ・収支率　54.8%	・費用額の算出に用いるキロ当たり単価を計画策定時の単価からより実態に即した「事業者単価（R8実績）」に変更している ・中間点検では8実績と8.5.4-R6.3との輸送人員を比較しその増減割合をR6実績に乗じて収益を算出している	（利用促進） ・各町ＨＰと運南バスＨＰの相互リンク又は路線図・時刻表の掲載は継続実施。 ・運南バス及び各市町が行う運行情報の提供や啓発・周知活動等の取組については継続実施。 【室蘭市・運南バス】 ・小学生や高齢者に対象を絞らず、幅広い年代を対象に商業施設においてバスの乗り方などの体験乗車会（「バスの乗り方教室」）を実施。 【登別市・運南バス】 ・登別市で開催される「リサイクルまつり゛２７イン登別・白老」会場に運南バスの車両を駐留して、バスの乗り方などの体験試乗会の実施（2027年7月開催時） （利便性向上） 【運南バス】 ・バス停留所待合室の現状確認を定期的に行い、修繕や清掃の実施・検討。	（利用促進） 公共交通のＰＲ等の取組強化による増収を見込む。 【基準年：令和8年3月末時点（令和７年度実績）】 ・経常収益　12,263,461円 ・経常費用　18,080,087円 ・経常収支　▲5,816,626円 ・収支率　67.8% 【取組目標年：令和９補助年度】 ・経常収益　12,439,781円（約176千円増加） ・経常費用　18,080,087円（増減なし） ・経常収支　▲5,640,306円 ・収支率　68.8%（収支改善率1.0%）	67.8%	54.8%	68.8%	
R9	2	登別・苫小牧線	東胆振広域市町村圏	苫小牧市	登別温泉	登別駅前	苫小牧駅前	（利用促進） ・各町ＨＰと運南バスＨＰの相互リンク又は路線図・時刻表の掲載は継続実施。 ・運南バス及び各市町が行う運行情報の提供や啓発・周知活動等の取組については継続実施。 【登別市・運南バス】 ・登別市で開催される「リサイクルまつり゛２６イン登別・白老」会場に運南バスの車両を駐留して、バスの乗り方などの体験試乗会の実施（2026年7月開催時） 【運南バス・苫小牧市】 ・苫小牧市で開催される「たるまえサンフェスティバル」会場においてバスの乗車体験、乗り方教室を実施。（2026年9月開催時） ・市内の学校、幼稚園と協働で2026年7月には「七夕」、2026年12月には「クリスマス」、2027年3月には「ひなまつり」をテーマにした装飾を行い、バス利用者の満足度向上を図る。 【苫小牧市】 ・2026年8月の「港まつり」、9月の「たるまえサンフェスティバル」において、公共交通の利用促進を啓発するポスターを近隣駅や近隣市町村に掲出（12月から2月に予定されている苫小牧駅前イルミネーションでも同様に実施予定）。 ・現在の運南バス時刻表掲載路線図の利便性向上のため、代わりとなるバスマップを作成・配布。 【白老町】 ・路線バスの時刻表を、利用者が手に入りやすくするため、役場内の住民窓口に配置。 ・コミュニティバスを含め、町内を運行する地域公共交通の路線・ダイヤを１冊にまとめた「ガイドブック」を発行し、運南バスとの接続及び利用促進に関するPRを実施。 ・コミュニティバスやタクシーに加え、運南バスでも利用可能な「地域公共交通共通回数券」を発行し、利用促進を図る。 （利便性向上） 【運南バス】 ・バス停留所待合室の現状確認を定期的に行い、修繕や清掃の実施・検討。	（利用促進） 公共交通のＰＲ等の取組強化による増収を見込む。 【基準年：令和8年3月末時点（令和６年度実績）】 ・経常収益　55,687,335円 ・経常費用　73,651,900円 ・経常収支　▲17,964,565円 ・収支率　75.6% 【取組目標年：令和８補助年度】 ・経常収益　56,422,335円（約735千円増加） ・経常費用　73,651,900円（増減なし） ・経常収支　▲17,229,565円 ・収支率　76.6%（収支改善率1.0%）	（利用促進） ・各町ＨＰと運南バスＨＰの相互リンク又は路線図・時刻表の掲載は継続実施。 ・運南バス及び各市町が行う運行情報の提供や啓発・周知活動等の取組については継続実施。 【登別市・運南バス】 ・登別市で開催される「リサイクルまつり゛２６イン登別・白老」会場に運南バスの車両を駐留して、バスの乗り方などの体験試乗会の実施（2026年7月開催時） 【運南バス・苫小牧市】 ・苫小牧市で開催される「たるまえサンフェスティバル」会場においてバスの乗車体験、乗り方教室を実施。（2026年9月開催時） ・市内の学校、幼稚園と協働で2026年7月には「七夕」、2026年12月には「クリスマス」、2027年3月には「ひなまつり」をテーマにした装飾を行い、バス利用者の満足度向上を図る。 【苫小牧市】 ・2026年8月の「港まつり」、9月の「たるまえサンフェスティバル」において、公共交通の利用促進を啓発するポスターを近隣駅や近隣市町村に掲出（12月から2月に予定されている苫小牧駅前イルミネーションでも同様に実施予定）。 ・現在の運南バス時刻表掲載路線図の利便性向上のため、代わりとなるバスマップを作成・配布。 【白老町】 ・路線バスの時刻表を、利用者が手に入りやすくするため、役場内の住民窓口に配置。 ・コミュニティバスを含め、町内を運行する地域公共交通の路線・ダイヤを１冊にまとめた「ガイドブック」を発行し、運南バスとの接続及び利用促進に関するPRを実施。 ・コミュニティバスやタクシーに加え、運南バスでも利用可能な「地域公共交通共通回数券」を発行し、利用促進を図る。 （利便性向上） 【運南バス】 ・バス停留所待合室の現状確認を定期的に行い、修繕や清掃の実施・検討。	【R7見込額】R8.3月末時点 ・経常収益　85,018,945円 ・経常費用　76,932,007円 ・経常収支　8,086,938円 ・収支率　110.5%	・費用額の算出に用いるキロ当たり単価を計画策定時の単価からより実態に即した「事業者単価（R8実績）」に変更している ・中間点検では8実績と8.5.4-R6.3との輸送人員を比較しその増減割合をR6実績に乗じて収益を算出している	（利用促進） ・各町ＨＰと運南バスＨＰの相互リンク又は路線図・時刻表の掲載は継続実施。 ・運南バス及び各市町が行う運行情報の提供や啓発・周知活動等の取組については継続実施。 【登別市・運南バス】 ・登別市で開催される「リサイクルまつり゛２７イン登別・白老」会場に運南バスの車両を駐留して、バスの乗り方などの体験試乗会の実施（2027年7月開催時） 【運南バス・苫小牧市】 ・苫小牧市で開催される「たるまえサンフェスティバル」会場においてバスの乗車体験、乗り方教室を実施。（2027年9月開催時） ・市内の学校、幼稚園と協働で2027年7月には「七夕」、2027年12月には「クリスマス」、2028年3月には「ひなまつり」、をテーマにした装飾を行い、バス利用者の満足度向上を図る。 【苫小牧市】 ・2027年8月の「港まつり」、9月の「たるまえサンフェスティバル」において、公共交通の利用促進を啓発するポスターを近隣駅や近隣市町村に掲出（12月から2月に予定されている苫小牧駅前イルミネーションでも同様に実施予定）。 ・現在の運南バス時刻表掲載路線図の利便性向上のため、代わりとなるバスマップを作成・配布。 【白老町】 ・路線バスの時刻表を、利用者が手に入りやすくするため、役場内の住民窓口に配置。 ・コミュニティバスを含め、町内を運行する地域公共交通の路線・ダイヤを１冊にまとめた「ガイドブック」を発行し、運南バスとの接続及び利用促進に関するPRを実施。 ・コミュニティバスやタクシーに加え、運南バスでも利用可能な「地域公共交通共通回数券」を発行し、利用促進を図る。 （利便性向上） 【運南バス】 ・バス停留所待合室の現状確認を定期的に行い、修繕や清掃の実施・検討。	（利用促進） 公共交通のＰＲ等の取組強化による増収を見込む。 【基準年：令和8年3月末時点（令和７年度実績）】 ・経常収益　75,297,976円 ・経常費用　82,765,662円 ・経常収支　▲7,467,686円 ・収支率　90.9% 【取組目標年：令和９補助年度】 ・経常収益　76,065,976円（約768千円増加） ・経常費用　82,765,662円（増減なし） ・経常収支　▲6,699,686円 ・収支率　91.9%（収支改善率1.0%）	90.9%	110.5%	91.9%	
R9	3	室蘭・洞爺湖線①	西胆振広域市町村圏	室蘭市 虻田町	洞爺湖温泉	壮瞥役場前	室蘭駅前広場	（利用促進） ・各町ＨＰと運南バスＨＰの相互リンク又は路線図・時刻表の掲載は継続実施。 ・運南バス及び各市町が行う運行情報の提供や啓発・周知活動等の取組については継続実施。 【室蘭市・運南バス】 ・小学生や高齢者に対象を絞らず、幅広い年代を対象に商業施設においてバスの乗り方などの体験乗車会（「バスの乗り方教室」）を実施。 【伊達市・運南バス】 ・市内を運行する路線バスのマップについて市ホームページ及びフェイスブックへの掲載は継続実施。 【壮瞥町】 ・コミュニティタクシーの利用について周知する際に、運南バスとの接続及び利用促進に関するPRを実施。 【洞爺湖町】 ・コミュニティバスの利用について周知する際に、運南バスの接続及び利用促進に関するPRを実施。 （利便性向上） 【運南バス】 ・バス停留所待合室の現状確認を定期的に行い、修繕や清掃の実施・検討。	（利用促進） 公共交通のＰＲ等の取組強化による増収を見込む。 【基準年：令和7年3月末時点（令和６年度実績）】 ・経常収益　52,287,965円 ・経常費用　84,046,442円 ・経常収支　▲31,758,477円 ・収支率　62.2% 【取組目標年：令和８補助年度】 ・経常収益　53,123,165円（約835千円増加） ・経常費用　84,046,442円 ・経常収支　▲30,923,277円 ・収支率　63.2%	（利用促進） ・各町ＨＰと運南バスＨＰの相互リンク又は路線図・時刻表の掲載は継続実施。 ・運南バス及び各市町が行う運行情報の提供や啓発・周知活動等の取組については継続実施。 【室蘭市・運南バス】 ・小学生や高齢者に対象を絞らず、幅広い年代を対象に商業施設においてバスの乗り方などの体験乗車会（「バスの乗り方教室」）を実施。 【伊達市・運南バス】 ・市内を運行する路線バスのマップについて市ホームページ及びフェイスブックへの掲載は継続実施。 【壮瞥町】 ・コミュニティタクシーの利用について周知する際に、運南バスとの接続及び利用促進に関するPRを実施。 【洞爺湖町】 ・コミュニティバスの利用について周知する際に、運南バスの接続及び利用促進に関するPRを実施。 （利便性向上） 【運南バス】 ・バス停留所待合室の現状確認を定期的に行い、修繕や清掃の実施・検討。	【R7見込額】R8.3月末時点 ・経常収益　34,167,939円 ・経常費用　65,107,783円 ・経常収支　▲30,939,844円 ・収支率　52.4%	・費用額の算出に用いるキロ当たり単価を計画策定時の単価からより実態に即した「事業者単価（R8実績）」に変更している ・中間点検では8実績と8.5.4-R6.3との輸送人員を比較しその増減割合をR6実績に乗じて収益を算出している	（利用促進） ・各町ＨＰと運南バスＨＰの相互リンク又は路線図・時刻表の掲載は継続実施。 ・運南バス及び各市町が行う運行情報の提供や啓発・周知活動等の取組については継続実施。 【室蘭市・運南バス】 ・小学生や高齢者に対象を絞らず、幅広い年代を対象に商業施設においてバスの乗り方などの体験乗車会（「バスの乗り方教室」）を実施。 【伊達市・運南バス】 ・市内を運行する路線バスのマップについて市ホームページ及びフェイスブックへの掲載は継続実施。 【壮瞥町】 ・コミュニティタクシーの利用について周知する際に、運南バスとの接続及び利用促進に関するPRを実施。 【洞爺湖町】 ・コミュニティバスの利用について周知する際に、運南バスの接続及び利用促進に関するPRを実施。 （利便性向上） 【運南バス】 ・バス停留所待合室の現状確認を定期的に行い、修繕や清掃の実施・検討。	（利用促進） 公共交通のＰＲ等の取組強化による増収を見込む。 【基準年：令和8年3月末時点（令和７年度実績）】 ・経常収益　43,184,958円 ・経常費用　64,958,253円 ・経常収支　▲21,773,295円 ・収支率　66.4% 【取組目標年：令和９補助年度】 ・経常収益　43,788,158円（約603千円増加） ・経常費用　64,958,253円 ・経常収支　▲21,170,095円 ・収支率　67.4%	66.4%	52.4%	67.4%	
R9	4	室蘭・洞爺湖線②	西胆振広域市町村圏	室蘭市 虻田町	洞爺湖温泉	虻田高校	室蘭駅前広場	（利用促進） ・各町ＨＰと運南バスＨＰの相互リンク又は路線図・時刻表の掲載は継続実施。 ・運南バス及び各市町が行う運行情報の提供や啓発・周知活動等の取組については継続実施。 【室蘭市・運南バス】 ・小学生や高齢者に対象を絞らず、幅広い年代を対象に商業施設においてバスの乗り方などの体験乗車会（「バスの乗り方教室」）を実施。 【伊達市・運南バス】 ・市内を運行する路線バスのマップについて市ホームページ及びフェイスブックへの掲載は継続実施。 【壮瞥町】 ・コミュニティタクシーの利用について周知する際に、運南バスとの接続及び利用促進に関するPRを実施。 【洞爺湖町】 ・コミュニティバスの利用について周知する際に、運南バスの接続及び利用促進に関するPRを実施。 （利便性向上） 【運南バス】 ・バス停留所待合室の現状確認を定期的に行い、修繕や清掃の実施・検討。	（利用促進） 公共交通のＰＲ等の取組強化による増収を見込む。 【基準年：令和7年3月末時点（令和６年度実績）】 ・経常収益　58,003,788円 ・経常費用　113,298,963円 ・経常収支　▲55,295,175円 ・収支率　51.1% 【取組目標年：令和８補助年度】 ・経常収益　59,030,388円（約1,026千円増加） ・経常費用　113,298,963円（増減なし） ・経常収支　▲54,268,575円 ・収支率　52.1%（収支改善率1.0%）	（利用促進） ・各町ＨＰと運南バスＨＰの相互リンク又は路線図・時刻表の掲載は継続実施。 ・運南バス及び各市町が行う運行情報の提供や啓発・周知活動等の取組については継続実施。 【室蘭市・運南バス】 ・小学生や高齢者に対象を絞らず、幅広い年代を対象に商業施設においてバスの乗り方などの体験乗車会（「バスの乗り方教室」）を実施。 【伊達市・運南バス】 ・市内を運行する路線バスのマップについて市ホームページ及びフェイスブックへの掲載は継続実施。 【壮瞥町】 ・コミュニティタクシーの利用について周知する際に、運南バスとの接続及び利用促進に関するPRを実施。 【洞爺湖町】 ・コミュニティバスの利用について周知する際に、運南バスの接続及び利用促進に関するPRを実施。 （利便性向上） 【運南バス】 ・バス停留所待合室の現状確認を定期的に行い、修繕や清掃の実施・検討。	【R7見込額】R8.3月末時点 ・経常収益　96,179,828円 ・経常費用　123,866,546円 ・経常収支　▲27,686,718円 ・収支率　77.6%	・費用額の算出に用いるキロ当たり単価を計画策定時の単価からより実態に即した「事業者単価（R8実績）」に変更している ・中間点検では8実績と8.5.4-R6.3との輸送人員を比較しその増減割合をR6実績に乗じて収益を算出している	（利用促進） ・各町ＨＰと運南バスＨＰの相互リンク又は路線図・時刻表の掲載は継続実施。 ・運南バス及び各市町が行う運行情報の提供や啓発・周知活動等の取組については継続実施。 【室蘭市・運南バス】 ・小学生や高齢者に対象を絞らず、幅広い年代を対象に商業施設においてバスの乗り方などの体験乗車会（「バスの乗り方教室」）を実施。 【伊達市・運南バス】 ・市内を運行する路線バスのマップについて市ホームページ及びフェイスブックへの掲載は継続実施。 【壮瞥町】 ・コミュニティタクシーの利用について周知する際に、運南バスとの接続及び利用促進に関するPRを実施。 【洞爺湖町】 ・コミュニティバスの利用について周知する際に、運南バスの接続及び利用促進に関するPRを実施。 （利便性向上） 【運南バス】 ・バス停留所待合室の現状確認を定期的に行い、修繕や清掃の実施・検討。	（利用促進） 公共交通のＰＲ等の取組強化による増収を見込む。 【基準年：令和8年3月末時点（令和７年度実績）】 ・経常収益　92,239,236円（約1,143千円増加） ・経常費用　124,979,572円（増減なし） ・経常収支　▲32,740,336円 ・収支率　73.8%（収支改善率1.0%）	72.8%	77.6%	73.8%	

年度	番号	系統名	広域行政圏名	中心市町村名	起点	経由地	終点	令和８年度計画内容（当初） 生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、実施時期	令和８年度計画内容（当初） 生産性向上の取組に係る定量的な効果目標	【中間点検】令和８年度計画内容（原則、令和８年３月末時点） 生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、実施時期	【中間点検】令和８年度計画内容（原則、令和８年３月末時点） 効果目標の達成状況	【中間点検】令和８年度計画内容（原則、令和８年３月末時点） 備考	令和９年度計画内容 生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、実施時期	令和９年度計画内容 生産性向上の取組に係る定量的な効果目標	令和７年度の収支率（実績値）	中間点検時点（原則、令和５年３月末時点）での収支率	令和９年度計画の収支率	備考
R9	5	室蘭・伊達線	西胆振広域市町村圏	室蘭市 伊達市	広域センタービル	日赤前	伊達駅前	（利用促進） ・各町ＨＰと運南バスＨＰの相互リンク又は路線図・時刻表の掲載は継続実施。 ・運南バス及び各市町が行う運行情報の提供や啓発・周知活動等の取組については継続実施。 【室蘭市・運南バス】 ・小学生や高齢者に対象を絞らず、幅広い年代を対象に商業施設においてバスの乗り方などの体験乗車会（「バスの乗り方教室」）を実施。 【伊達市・運南バス】 ・市内を運行する路線バスのマップについて市ホームページ及びフェイスブックへの掲載は継続実施。 （利便性向上） 【運南バス】 ・バス停留所待合室の現状確認を定期的に行い、修繕や清掃の実施・検討。	（利用促進） 公共交通のＰＲ等の取組強化による増収を見込む。 【基準年：令和7年3月末時点（令和６年度実績）】 ・経常収益　27,458,923円 ・経常費用　40,910,026円 ・経常収支　▲13,451,103円 ・収支率　67.1% 【取組目標年：令和８補助年度】 ・経常収益　27,864,223円（約405千円増加） ・経常費用　40,910,026円（増減なし） ・経常収支　▲13,045,803円 ・収支率　68.1%（収支改善率1.0%）	（利用促進） ・各町ＨＰと運南バスＨＰの相互リンク又は路線図・時刻表の掲載は継続実施。 ・運南バス及び各市町が行う運行情報の提供や啓発・周知活動等の取組については継続実施。 【室蘭市・運南バス】 ・小学生や高齢者に対象を絞らず、幅広い年代を対象に商業施設においてバスの乗り方などの体験乗車会（「バスの乗り方教室」）を実施。 【伊達市・運南バス】 ・市内を運行する路線バスのマップについて市ホームページ及びフェイスブックへの掲載は継続実施。 （利便性向上） 【運南バス】 ・バス停留所待合室の現状確認を定期的に行い、修繕や清掃の実施・検討。	【R7見込額】R8.3月末時点 ・経常収益　21,544,127円 ・経常費用　38,717,877円 ・経常収支　▲17,173,750円 ・収支率　55.6%	・費用額の算出に用いるキロ当たり単価を計画策定時の単価からより実態に即した「事業者単価（R6実績）」に変更している ・中間点検ではR6実績とR5.4-R6.3との輸送人員を比較しその増減割合をR6実績に乗じて収益を算出している	（利用促進） ・各町ＨＰと運南バスＨＰの相互リンク又は路線図・時刻表の掲載は継続実施。 ・運南バス及び各市町が行う運行情報の提供や啓発・周知活動等の取組については継続実施。 【室蘭市・運南バス】 ・小学生や高齢者に対象を絞らず、幅広い年代を対象に商業施設においてバスの乗り方などの体験乗車会（「バスの乗り方教室」）を実施。 【伊達市・運南バス】 ・市内を運行する路線バスのマップについて市ホームページ及びフェイスブックへの掲載は継続実施。 （利便性向上） 【運南バス】 ・バス停留所待合室の現状確認を定期的に行い、修繕や清掃の実施・検討。	（利用促進） 公共交通のＰＲ等の取組強化による増収を見込む。 【基準年：令和8年3月末時点（令和７年度実績）】 ・経常収益　24,975,802円 ・経常費用　38,690,152円 ・経常収支　▲13,714,350円 ・収支率　64.5% 【取組目標年：令和９補助年度】 ・経常収益　25,374,802円（約399千円増加） ・経常費用　38,690,152円（増減なし） ・経常収支　▲13,315,350円 ・収支率　65.5%（収支改善率1.0%）	64.5%	55.6%	65.5%	
R9	6	日高沿岸線①	日高広域市町村圏 東胆振広域市町村圏	静内町 苫小牧市	静内	富川ターミナルとみくる・上厚真・沼ノ端駅北口	苫小牧駅前	（利用促進） ・各町ＨＰと運南バスＨＰの相互リンク又は路線図・時刻表の掲載は継続実施。 ・運南バス及び各市町が行う運行情報の提供や啓発・周知活動等の取組については継続実施。 【関係市町村共通】 ・運南バス及び各市町、東胆振定住自立圏、nittan地域戦略会議が行う運行情報の提供や啓発・周知活動等の取組については継続実施。 【運南バス・苫小牧市】 ・苫小牧市で開催される「たるまえサンフェスティバル」会場においてバスの乗車体験、乗り方教室を実施。（2026年9月開催時） ・市内の学校、幼稚園と協働で2026年7月には「七夕」、2026年12月には「クリスマス」、2027年3月には「ひなまつり」をテーマにした装飾を行い、バス利用者の満足度向上を図る。 【苫小牧市】 ・2026年8月の「港まつり」、9月の「たるまえサンフェスティバル」において、公共交通の利用促進を啓発するポスターを近隣駅や近隣市町村に掲出（12月から2月に予定されている苫小牧駅前イルミネーションでも同様に実施予定）。 ・現在の運南バス時刻表掲載路線図の利便性向上のため、代わりとなるバスマップを作成・配布。 【厚真町】 ・2026年7月の「田舎まつり」にあわせて、公共交通の利用促進を啓発するポスターを近隣市町村に掲出。 【むかわ町】 ・バス利用者との利用促進に関する意見交換会を実施。 ・2026年8月の「むかわグルメフェスタ」にあわせて、公共交通の利用促進を啓発するポスターを近隣市町村に掲出。 （利便性向上） 【運南バス】 ・バス停留所待合室の現状確認を定期的に行い、修繕や清掃の実施・検討。	（利用促進） 公共交通のＰＲ等の取組強化による増収を見込む。 【基準年：令和7年3月末時点（令和６年度実績）】 ・経常収益　66,743,300円 ・経常費用　126,107,391円 ・経常収支　▲59,364,091円 ・収支率　52.9% 【取組目標年：令和８補助年度】 ・経常収益　67,979,400円（約1,236千円増加） ・経常費用　126,107,391円（増減なし） ・経常収支　▲58,127,991円 ・収支率　53.9%（収支改善率1.0%）	（利用促進） ・各町ＨＰと運南バスＨＰの相互リンク又は路線図・時刻表の掲載は継続実施。 ・運南バス及び各市町が行う運行情報の提供や啓発・周知活動等の取組については継続実施。 【関係市町村共通】 ・運南バス及び各市町、東胆振定住自立圏、nittan地域戦略会議が行う運行情報の提供や啓発・周知活動等の取組については継続実施。 【運南バス・苫小牧市】 ・苫小牧市で開催される「たるまえサンフェスティバル」会場において、公共交通の利用促進を啓発するポスターを近隣駅や近隣市町村に掲出（12月から2月に予定されている苫小牧駅前イルミネーションでも同様に実施予定）。 ・現在の運南バス時刻表掲載路線図の利便性向上のため、代わりとなるバスマップを作成・配布。 【厚真町】 ・2026年7月の「田舎まつり」にあわせて、公共交通の利用促進を啓発するポスターを近隣市町村に掲出。 【むかわ町】 ・バス利用者との利用促進に関する意見交換会を実施。 ・2026年8月の「むかわグルメフェスタ」にあわせて、公共交通の利用促進を啓発するポスターを近隣市町村に掲出。 （利便性向上） 【運南バス】 ・バス停留所待合室の現状確認を定期的に行い、修繕や清掃の実施・検討。	【R7見込額】R8.3月末時点 ・経常収益　97,725,704円 ・経常費用　138,853,598円 ・経常収支　▲41,127,894円 ・収支率　70.3%	・費用額の算出に用いるキロ当たり単価を計画策定時の単価からより実態に即した「事業者単価（R6実績）」に変更している ・中間点検ではR6実績とR5.4-R6.3との輸送人員を比較しその増減割合をR6実績に乗じて収益を算出している	（利用促進） ・各町ＨＰと運南バスＨＰの相互リンク又は路線図・時刻表の掲載は継続実施。 ・運南バス及び各市町が行う運行情報の提供や啓発・周知活動等の取組については継続実施。 【関係市町村共通】 ・運南バス及び各市町、東胆振定住自立圏、nittan地域戦略会議が行う運行情報の提供や啓発・周知活動等の取組については継続実施。 【運南バス・苫小牧市】 ・苫小牧市で開催される「たるまえサンフェスティバル」会場においてバスの乗車体験、乗り方教室を実施。（2027年9月開催時） ・市内の学校、幼稚園と協働で2027年7月には「七夕」、2027年12月には「クリスマス」、2028年3月には「ひなまつり」、をテーマにした装飾を行い、バス利用者の満足度向上を図る。 【苫小牧市】 ・2026年8月の「港まつり」、9月の「たるまえサンフェスティバル」において、公共交通の利用促進を啓発するポスターを近隣駅や近隣市町村に掲出（12月から2月に予定されている苫小牧駅前イルミネーションでも同様に実施予定）。 ・現在の運南バス時刻表掲載路線図の利便性向上のため、代わりとなるバスマップを作成・配布。 【厚真町】 ・2026年7月の「田舎まつり」にあわせて、公共交通の利用促進を啓発するポスターを近隣市町村に掲出。 【むかわ町】 ・バス利用者との利用促進に関する意見交換会を実施。 ・2026年8月の「むかわグルメフェスタ」にあわせて、公共交通の利用促進を啓発するポスターを近隣市町村に掲出。 （利便性向上） 【運南バス】 ・バス停留所待合室の現状確認を定期的に行い、修繕や清掃の実施・検討。	（利用促進） 公共交通のＰＲ等の取組強化による増収を見込む。 【基準年：令和8年3月末時点（令和７年度実績）】 ・経常収益　99,893,391円 ・経常費用　138,754,946円 ・経常収支　▲38,861,555円 ・収支率　71.9% 【取組目標年：令和９補助年度】 ・経常収益　101,162,391円（約1,269千円増加） ・経常費用　138,754,946円（増減なし） ・経常収支　▲37,592,555円 ・収支率　72.9%（収支改善率1.0%）	71.9%	70.3%	72.9%	
R9	7	胆振線	西胆振広域市町村圏	伊達市	伊達駅前	日赤前・久保内	大滝本町案内地	（利用促進） ・各町ＨＰと運南バスＨＰの相互リンク又は路線図・時刻表の掲載は継続実施。 ・運南バス及び各市町が行う運行情報の提供や啓発・周知活動等の取組については継続実施。 【壮瞥町】 ・コミュニティタクシーの利用について周知する際に、運南バスとの接続及び利用促進に関するPRを実施。 （利便性向上） 【運南バス】 ・バス停留所待合室の現状確認を定期的に行い、修繕や清掃の実施・検討。	（利用促進） 公共交通のＰＲ等の取組強化による増収を見込む。 【基準年：令和7年3月末時点（令和６年度実績）】 ・経常収益　17,134,850円 ・経常費用　56,695,890円 ・経常収支　▲39,561,040円 ・収支率　30.2% 【取組目標年：令和８補助年度】 ・経常収益　17,689,150円（約554千円増加） ・経常費用　56,695,890円（増減なし） ・経常収支　▲39,006,740円 ・収支率　31.2%（収支改善率1.0%）	（利用促進） ・各町ＨＰと運南バスＨＰの相互リンク又は路線図・時刻表の掲載は継続実施。 ・運南バス及び各市町が行う運行情報の提供や啓発・周知活動等の取組については継続実施。 【壮瞥町】 ・コミュニティタクシーの利用について周知する際に、運南バスとの接続及び利用促進に関するPRを実施。 （利便性向上） 【運南バス】 ・バス停留所待合室の現状確認を定期的に行い、修繕や清掃の実施・検討。	【R7見込額】R8.3月末時点 ・経常収益　26,314,131円 ・経常費用　62,897,125円 ・経常収支　▲36,582,994円 ・収支率　41.8%	・費用額の算出に用いるキロ当たり単価を計画策定時の単価からより実態に即した「事業者単価（R6実績）」に変更している ・中間点検ではR6実績とR5.4-R6.3との輸送人員を比較しその増減割合をR6実績に乗じて収益を算出している	（利用促進） ・各町ＨＰと運南バスＨＰの相互リンク又は路線図・時刻表の掲載は継続実施。 ・運南バス及び各市町が行う運行情報の提供や啓発・周知活動等の取組については継続実施。 【壮瞥町】 ・コミュニティタクシーの利用について周知する際に、運南バスとの接続及び利用促進に関するPRを実施。 （利便性向上） 【運南バス】 ・バス停留所待合室の現状確認を定期的に行い、修繕や清掃の実施・検討。	（利用促進） 公共交通のＰＲ等の取組強化による増収を見込む。 【基準年：令和8年3月末時点（令和７年度実績）】 ・経常収益　22,725,737円 ・経常費用　62,913,483円 ・経常収支　▲40,187,746円 ・収支率　36.1% 【取組目標年：令和９補助年度】 ・経常収益　23,346,737円（約621千円増加） ・経常費用　62,913,483円（増減なし） ・経常収支　▲39,566,746円 ・収支率　37.1%（収支改善率1.0%）	36.1%	41.8%	37.1%	
R9	8	洞爺湖温泉線	西胆振広域市町村圏	虻田町	東町	洞爺湖温泉	洞爺駅前	（利用促進） ・各町ＨＰと運南バスＨＰの相互リンク又は路線図・時刻表の掲載は継続実施。 ・運南バス及び各市町が行う運行情報の提供や啓発・周知活動等の取組については継続実施。 【壮瞥町】 ・コミュニティタクシーの利用について周知する際に、運南バスとの接続及び利用促進に関するPRを実施。 【洞爺湖町】 ・コミュニティバスの利用について周知する際に、運南バスとの接続及び利用促進に関するPRを実施。 （利便性向上） 【運南バス】 ・バス停留所待合室の現状確認を定期的に行い、修繕や清掃の実施・検討。	（利用促進） 公共交通のＰＲ等の取組強化による増収を見込む。 【基準年：令和7年3月末時点（令和６年度実績）】 ・経常収益　9,333,855円 ・経常費用　13,496,101円 ・経常収支　▲4,162,246円 ・収支率　69.1% 【取組目標年：令和８補助年度】 ・経常収益　9,465,155円（約131千円増加） ・経常費用　13,496,101円（増減なし） ・経常収支　▲4,030,946円 ・収支率　70.1%（収支改善率1.0%）	（利用促進） ・各町ＨＰと運南バスＨＰの相互リンク又は路線図・時刻表の掲載は継続実施。 ・運南バス及び各市町が行う運行情報の提供や啓発・周知活動等の取組については継続実施。 【壮瞥町】 ・コミュニティタクシーの利用について周知する際に、運南バスとの接続及び利用促進に関するPRを実施。 【洞爺湖町】 ・コミュニティバスの利用について周知する際に、運南バスとの接続及び利用促進に関するPRを実施。 （利便性向上） 【運南バス】 ・バス停留所待合室の現状確認を定期的に行い、修繕や清掃の実施・検討。	【R7見込額】R8.3月末時点 ・経常収益　15,922,438円 ・経常費用　20,653,393円 ・経常収支　▲4,730,955円 ・収支率　77.0%	・費用額の算出に用いるキロ当たり単価を計画策定時の単価からより実態に即した「事業者単価（R6実績）」に変更している ・中間点検ではR6実績とR5.4-R6.3との輸送人員を比較しその増減割合をR6実績に乗じて収益を算出している	（利用促進） ・各町ＨＰと運南バスＨＰの相互リンク又は路線図・時刻表の掲載は継続実施。 ・運南バス及び各市町が行う運行情報の提供や啓発・周知活動等の取組については継続実施。 【壮瞥町】 ・コミュニティタクシーの利用について周知する際に、運南バスとの接続及び利用促進に関するPRを実施。 【洞爺湖町】 ・コミュニティバスの利用について周知する際に、運南バスとの接続及び利用促進に関するPRを実施。 （利便性向上） 【運南バス】 ・バス停留所待合室の現状確認を定期的に行い、修繕や清掃の実施・検討。	（利用促進） 公共交通のＰＲ等の取組強化による増収を見込む。 【基準年：令和8年3月末時点（令和７年度実績）】 ・経常収益　14,770,351円 ・経常費用　22,931,288円 ・経常収支　▲8,160,937円 ・収支率　64.4% 【取組目標年：令和９補助年度】 ・経常収益　15,000,451円（約230千円増加） ・経常費用　22,931,288円（増減なし） ・経常収支　▲7,930,837円 ・収支率　65.4%（収支改善率1.0%）	64.4%	77.0%	65.4%	
R9	9	室蘭・登別温泉線	西胆振広域市町村圏	室蘭市	広域センタービル	沙平団地	登別温泉	（利用促進） ・各町ＨＰと運南バスＨＰの相互リンク又は路線図・時刻表の掲載は継続実施。 ・運南バス及び各市町が行う運行情報の提供や啓発・周知活動等の取組については継続実施。 【室蘭市・運南バス】 ・小学生や高齢者に対象を絞らず、幅広い年代を対象に商業施設においてバスの乗り方などの体験乗車会（「バスの乗り方教室」）を実施。 【登別市・運南バス】 ・登別市で開催される「リサイクルまつり」２６イン登別・白老」会場に運南バスの車両を駐留して、バスの乗り方などの体験試乗会の実施（2026年7月開催時） （利便性向上） 【運南バス】 ・バス停留所待合室の現状確認を定期的に行い、修繕や清掃の実施・検討。	（利用促進） 公共交通のＰＲ等の取組強化による増収を見込む。 【基準年：令和7年3月末時点（令和６年度実績）】 ・経常収益　74,890,455円 ・経常費用　77,471,488円 ・経常収支　▲2,581,033円 ・収支率　96.6% 【取組目標年：令和８補助年度】 ・経常収益　75,619,155円（約728千円増加） ・経常費用　77,471,488円（増減なし） ・経常収支　▲1,852,333円 ・収支率　97.6%（収支改善率1.0%）	（利用促進） ・各町ＨＰと運南バスＨＰの相互リンク又は路線図・時刻表の掲載は継続実施。 ・運南バス及び各市町が行う運行情報の提供や啓発・周知活動等の取組については継続実施。 【室蘭市・運南バス】 ・小学生や高齢者に対象を絞らず、幅広い年代を対象に商業施設においてバスの乗り方などの体験乗車会（「バスの乗り方教室」）を実施。 【登別市・運南バス】 ・登別市で開催される「リサイクルまつり」２６イン登別・白老」会場に運南バスの車両を駐留して、バスの乗り方などの体験試乗会の実施（2026年7月開催時） （利便性向上） 【運南バス】 ・バス停留所待合室の現状確認を定期的に行い、修繕や清掃の実施・検討。	【R7見込額】R8.3月末時点 ・経常収益　110,067,170円 ・経常費用　91,856,563円 ・経常収支　18,210,607円 ・収支率　119.8%	・費用額の算出に用いるキロ当たり単価を計画策定時の単価からより実態に即した「事業者単価（R6実績）」に変更している ・中間点検ではR6実績とR5.4-R6.3との輸送人員を比較しその増減割合をR6実績に乗じて収益を算出している	（利用促進） ・各町ＨＰと運南バスＨＰの相互リンク又は路線図・時刻表の掲載は継続実施。 ・運南バス及び各市町が行う運行情報の提供や啓発・周知活動等の取組については継続実施。 【室蘭市・運南バス】 ・小学生や高齢者に対象を絞らず、幅広い年代を対象に商業施設においてバスの乗り方などの体験乗車会（「バスの乗り方教室」）を実施。 【登別市・運南バス】 ・登別市で開催される「リサイクルまつり」２７イン登別・白老」会場に運南バスの車両を駐留して、バスの乗り方などの体験試乗会の実施（2027年7月開催時） （利便性向上） 【運南バス】 ・バス停留所待合室の現状確認を定期的に行い、修繕や清掃の実施・検討。	（利用促進） 公共交通のＰＲ等の取組強化による増収を見込む。 【基準年：令和8年3月末時点（令和７年度実績）】 ・経常収益　105,884,723円 ・経常費用　93,038,041円 ・経常収支　12,846,682円 ・収支率　113.8% 【取組目標年：令和９補助年度】 ・経常収益　106,812,923円（約928千円増加） ・経常費用　93,038,041円（増減なし） ・経常収支　13,774,882円 ・収支率　114.8%（収支改善率1.0%）	113.8%	119.8%	114.8%	

年度	番号	系統名	広域行政圏名	中心市町村名	起点	経由地	終点	令和８年度計画内容（当初）		【中間点検】令和８年度計画内容（原則、令和８年３月末時点）			令和９年度計画内容					備考
								生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、実施時期	生産性向上の取組に係る定量的な効果目標	生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、実施時期	効果目標の達成状況	備考	生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、実施時期	生産性向上の取組に係る定量的な効果目標	令和７年度の収支率（実績値）	中間点検時点（原則、令和５年３月末時点）での収支率	令和９年度計画の収支率	
R9	10	洞爺湖温泉線②	西胆振広域市町村圏	虻田町	昭和新山	虻田高校	洞爺駅前	（利用促進） ・各町ＨＰと道南バスＨＰの相互リンクは路線図・時刻表の掲載は継続実施。 ・道南バス及び各市町が行う運行情報の提供や啓発・周知活動等の取組については継続実施。 【壮瞥町】 ・コミュニティタクシーの利用について周知する際に、道南バスとの接続及び利用促進に関するPRを実施。 【洞爺湖町】 ・コミュニティバスの利用について周知する際に、道南バスとの接続及び利用促進に関するPRを実施。 （利便性向上） 【道南バス】 ・バス停留所待合室の現状確認を定期的に行い、修繕や清掃の実施・検討。	（利用促進） 公共交通のＰＲ等の取組強化による増収を見込む。 【基準年：令和7年3月末時点（令和６年度実績）】 ・経常収益　10,572,733円 ・経常費用　16,177,799円 ・経常収支　▲5,605,066円 ・収支率　65.3% 【取組目標年：令和８補助年度】 ・経常収益　10,726,733円（約154千円増加） ・経常費用　16,177,799円（増減なし） ・経常収支　▲5,451,066円 ・収支率　66.3%（収支改善率1.0%）	【R7見込額】R8.3月末時点 ・経常収益　35,522,982円 ・経常費用　23,372,287円 ・経常収支　12,150,695円 ・収支率　151.9%	・費用額の算出に用いるキロ当たり単価を計画策定時の単価からより実態に即した「事業者単価（R8実績）」に変更している ・中間点検では86実績と85.4-86.3との輸送人員を比較しその増減割合を86実績に乗じて収益を算出している	（利用促進） ・各町ＨＰと道南バスＨＰの相互リンクは路線図・時刻表の掲載は継続実施。 ・道南バス及び各市町が行う運行情報の提供や啓発・周知活動等の取組については継続実施。 【壮瞥町】 ・コミュニティタクシーの利用について周知する際に、道南バスとの接続及び利用促進に関するPRを実施。 【洞爺湖町】 ・コミュニティバスの利用について周知する際に、道南バスとの接続及び利用促進に関するPRを実施。 （利便性向上） 【道南バス】 ・バス停留所待合室の現状確認を定期的に行い、修繕や清掃の実施・検討。	（利用促進） 公共交通のＰＲ等の取組強化による増収を見込む。 【基準年：令和8年3月末時点（令和７年度実績）】 ・経常収益　29,041,025円 ・経常費用　26,966,552円 ・経常収支　2,074,473円 ・収支率　107.6% 【取組目標年：令和９補助年度】 ・経常収益　29,286,025円（約245千円増加） ・経常費用　26,966,552円（増減なし） ・経常収支　2,319,473円 ・収支率　108.6%（収支改善率1.0%）	107.6%	151.9%	108.6%	
R9	11	札幌ふるさと広域市町村圏	千歳市	千歳市	厚真	早来	千歳駅前	（利用促進） ・各市町村発行の広報誌を活用した利用促進に関するPRを実施(沿線市町：年数回実施) ・各市町HPとあつまバスHPの相互リンクは路線図・時刻表の掲載を継続実施 ・あつまバス及び各市町、東胆振定住自立圏が行う運行情報の提供や啓発・周知活動等の取組については継続実施 ・市町開催の各種イベントに於ける時刻表の掲載の継続実施 【厚真町】 ・地域コミュニティバスの再編を実施、増便及び効率化を図り、路線バスとの利用促進に繋げる取組を継続実施。 ・乗合ハイヤーサービスの運行により、路線バスとの接続の円滑化を図り利用促進に繋げる取組を継続実施。 ・厚真町公共交ガイドブックの発行(年１回)。 【安平町】 ・地域コミュニティバスと路線バスとの併用回数券により、路線バスの利用促進に繋げる取組を継続実施。 ・安平町総合時刻表の発行(年１回) 【あつまバス】 ・全路線キャッシュレスサービスの継続実施。	（利用促進） 利用促進の取組を行い、利用者の増加を見込む。 【基準年：令和6年補助年度】 ・経常収益　15,740千円 ・経常費用　24,908千円 ・経常収支　▲9,168千円 ・収支率　63.1% 【取組目標年：令和8補助年度】 ・経常収益　15,965千円（約245千円増加） ・経常費用　24,908千円（増減なし） ・経常収支　▲8,695千円 ・収支率　64.1%（収支改善率1.0%）	利用促進 各市町発行の広報誌面を利用した利用促進に関するPRを継続実施 ・各市町HPとあつまバスHPの相互リンクと時刻表と路線図の掲載を継続実施 ・３月に時刻表の新聞折り込みを実施 ・町内の公共交通総合時刻表(時刻表・路線図・利用ガイド)の全戸配布を年１回継続実施(取組主体:厚真町・安平町) ・あつまバス及び各市町、東胆振定住自立圏が行う運行情報の提供や啓発・周知活動の取組については継続実施	【令和7年9月末時点】 ・経常収益　16,182千円 ・経常費用　25,968千円 ・経常収支　▲9,786千円 ・収支率　62.3%	令和7年度の事業決算の処理が終わっていないため、令和6年9月末時点の実績値を使用。	（利用促進） ・各市町村発行の広報誌を活用した利用促進に関するPRを実施(沿線市町：年数回実施) ・各市町HPとあつまバスHPの相互リンクは路線図・時刻表の掲載を継続実施 ・あつまバス及び各市町、東胆振定住自立圏が行う運行情報の提供や啓発・周知活動等の取組については継続実施 ・市町開催の各種イベントに於ける時刻表の掲載の継続実施 【厚真町】 ・地域コミュニティバスの再編を実施、増便及び効率化を図り、路線バスとの利用促進に繋げる取組を継続実施。 ・乗合ハイヤーサービスの運行により、路線バスとの接続の円滑化を図り利用促進に繋げる取組を継続実施。 ・厚真町公共交ガイドブックの発行(年１回)。 【安平町】 ・地域コミュニティバスと路線バスとの併用回数券により、路線バスの利用促進に繋げる取組を継続実施。 ・安平町総合時刻表の発行(年１回) 【あつまバス】 ・全路線キャッシュレスサービスの継続実施。	（利用促進） 利用促進の取組を行い、利用者の増加を見込む。 【基準年：令和7年補助年度】 ・経常収益　16,182千円 ・経常費用　25,968千円 ・経常収支　▲9,786千円 ・収支率　62.3% 【取組目標年：令和9補助年度】 ・経常収益　16,445千円（約263千円増加） ・経常費用　25,968千円（増減なし） ・経常収支　▲9,523千円 ・収支率　63.3%（収支改善率1.0%）	62.3%	62.3%	64.1%	
R9	12	苫小牧線①	東胆振広域市町村	苫小牧市	厚真	上厚真	苫小牧駅前	（利用促進） ・各市町村発行の広報誌を活用した利用促進に関するPRを実施(沿線市町：年数回実施) ・各市町HPとあつまバスHPの相互リンクは路線図・時刻表の掲載を継続実施 ・あつまバス及び各市町、東胆振定住自立圏が行う運行情報の提供や啓発・周知活動等の取組については継続実施 ・市町開催の各種イベントに於ける時刻表の掲載の継続実施 【厚真町】 ・地域コミュニティバスの再編を実施、増便及び効率化を図り、路線バスとの利用促進に繋げる取組を継続実施。 ・乗合ハイヤーサービスの運行により、路線バスとの接続の円滑化を図り利用促進に繋げる取組を継続実施。 ・厚真町公共交ガイドブックの発行(年１回)。 【安平町】 ・地域コミュニティバスと路線バスとの併用回数券により、路線バスの利用促進に繋げる取組を継続実施。 ・安平町総合時刻表の発行(年１回) 【あつまバス】 ・全路線キャッシュレスサービスの継続実施。	（利用促進） 利用促進の取組を行い、利用者の増加を見込む。 【基準年：令和6年補助年度】 ・経常収益　13,251千円 ・経常費用　27,838千円 ・経常収支　▲14,587千円 ・収支率　47.6% 【取組目標年：令和8補助年度】 ・経常収益　13,532千円（約281千円増加） ・経常費用　27,838千円（増減なし） ・経常収支　▲14,306千円 ・収支率　48.6%（収支改善率1.0%）	利用促進 各市町発行の広報誌面を利用した利用促進に関するPRを継続実施 ・各市町HPとあつまバスHPの相互リンクと時刻表と路線図の掲載を継続実施 ・３月に時刻表の新聞折り込みを実施 ・町内の公共交通総合時刻表(時刻表・路線図・利用ガイド)の全戸配布を年１回継続実施(取組主体:厚真町・安平町) ・あつまバス及び各市町、東胆振定住自立圏が行う運行情報の提供や啓発・周知活動の取組については継続実施	【令和7年9月末時点】 ・経常収益　13,566千円 ・経常費用　28,972千円 ・経常収支　▲15,406千円 ・収支率　46.8%	令和7年度の事業決算の処理が終わっていないため、令和6年9月末時点の実績値を使用。	（利用促進） ・各市町村発行の広報誌を活用した利用促進に関するPRを実施(沿線市町：年数回実施) ・各市町HPとあつまバスHPの相互リンクは路線図・時刻表の掲載を継続実施 ・あつまバス及び各市町、東胆振定住自立圏が行う運行情報の提供や啓発・周知活動等の取組については継続実施 ・市町開催の各種イベントに於ける時刻表の掲載の継続実施 【厚真町】 ・地域コミュニティバスの再編を実施、増便及び効率化を図り、路線バスとの利用促進に繋げる取組を継続実施。 ・乗合ハイヤーサービスの運行により、路線バスとの接続の円滑化を図り利用促進に繋げる取組を継続実施。 ・厚真町公共交ガイドブックの発行(年１回)。 【安平町】 ・地域コミュニティバスと路線バスとの併用回数券により、路線バスの利用促進に繋げる取組を継続実施。 ・安平町総合時刻表の発行(年１回) 【あつまバス】 ・全路線キャッシュレスサービスの継続実施。	（利用促進） 利用促進の取組を行い、利用者の増加を見込む。 【基準年：令和7年補助年度】 ・経常収益　13,566千円 ・経常費用　28,972千円 ・経常収支　▲15,406千円 ・収支率　46.8% 【取組目標年：令和9補助年度】 ・経常収益　13,863千円（約297千円増加） ・経常費用　28,972千円（増減なし） ・経常収支　▲15,109千円 ・収支率　47.8%（収支改善率1.0%）	46.8%	46.8%	47.8%	
R9	13	苫小牧線②	東胆振広域市町村	苫小牧市	厚真	緑小	苫小牧駅前	（利用促進） ・各市町村発行の広報誌を活用した利用促進に関するPRを実施(沿線市町：年数回実施) ・各市町HPとあつまバスHPの相互リンクは路線図・時刻表の掲載を継続実施 ・あつまバス及び各市町、東胆振定住自立圏が行う運行情報の提供や啓発・周知活動等の取組については継続実施 ・市町開催の各種イベントに於ける時刻表の掲載の継続実施 【厚真町】 ・地域コミュニティバスの再編を実施、増便及び効率化を図り、路線バスとの利用促進に繋げる取組を継続実施。 ・乗合ハイヤーサービスの運行により、路線バスとの接続の円滑化を図り利用促進に繋げる取組を継続実施。 ・厚真町公共交ガイドブックの発行(年１回)。 【安平町】 ・地域コミュニティバスと路線バスとの併用回数券により、路線バスの利用促進に繋げる取組を継続実施。 ・安平町総合時刻表の発行(年１回) 【あつまバス】 ・全路線キャッシュレスサービスの継続実施。	（利用促進） 利用促進の取組を行い、利用者の増加を見込む。 【基準年：令和6年補助年度】 ・経常収益　13,593千円 ・経常費用　24,432千円 ・経常収支　▲10,839千円 ・収支率　55.6% 【取組目標年：令和8補助年度】 ・経常収益　13,842千円（約249千円増加） ・経常費用　24,432千円（増減なし） ・経常収支　▲8,695千円 ・収支率　56.6%（収支改善率1.0%）	利用促進 各市町発行の広報誌面を利用した利用促進に関するPRを継続実施 ・各市町HPとあつまバスHPの相互リンクと時刻表と路線図の掲載を継続実施 ・３月に時刻表の新聞折り込みを実施 ・町内の公共交通総合時刻表(時刻表・路線図・利用ガイド)の全戸配布を年１回継続実施(取組主体:厚真町・安平町) ・あつまバス及び各市町、東胆振定住自立圏が行う運行情報の提供や啓発・周知活動の取組については継続実施	【令和7年9月末時点】 ・経常収益　13,470千円 ・経常費用　25,471千円 ・経常収支　▲12,001千円 ・収支率　52.8%	令和7年度の事業決算の処理が終わっていないため、令和6年9月末時点の実績値を使用。	（利用促進） ・各市町村発行の広報誌を活用した利用促進に関するPRを実施(沿線市町：年数回実施) ・各市町HPとあつまバスHPの相互リンクは路線図・時刻表の掲載を継続実施 ・あつまバス及び各市町、東胆振定住自立圏が行う運行情報の提供や啓発・周知活動等の取組については継続実施 ・市町開催の各種イベントに於ける時刻表の掲載の継続実施 【厚真町】 ・地域コミュニティバスの再編を実施、増便及び効率化を図り、路線バスとの利用促進に繋げる取組を継続実施。 ・乗合ハイヤーサービスの運行により、路線バスとの接続の円滑化を図り利用促進に繋げる取組を継続実施。 ・厚真町公共交ガイドブックの発行(年１回)。 【安平町】 ・地域コミュニティバスと路線バスとの併用回数券により、路線バスの利用促進に繋げる取組を継続実施。 ・安平町総合時刻表の発行(年１回) 【あつまバス】 ・全路線キャッシュレスサービスの継続実施。	（利用促進） 利用促進の取組を行い、利用者の増加を見込む。 【基準年：令和7年補助年度】 ・経常収益　13,470千円 ・経常費用　25,471千円 ・経常収支　▲12,001千円 ・収支率　52.8% 【取組目標年：令和9補助年度】 ・経常収益　13,719千円（約249千円増加） ・経常費用　25,471千円（増減なし） ・経常収支　▲11,752千円 ・収支率　53.8%（収支改善率1.0%）	52.8%	52.8%	53.8%	
R9	14	苫小牧線③	東胆振広域市町村	苫小牧市	厚真	日軽金	苫小牧駅前	（利用促進） ・各市町村発行の広報誌を活用した利用促進に関するPRを実施(沿線市町：年数回実施) ・各市町HPとあつまバスHPの相互リンクは路線図・時刻表の掲載を継続実施 ・あつまバス及び各市町、東胆振定住自立圏が行う運行情報の提供や啓発・周知活動等の取組については継続実施 ・市町開催の各種イベントに於ける時刻表の掲載の継続実施 【厚真町】 ・地域コミュニティバスの再編を実施、増便及び効率化を図り、路線バスとの利用促進に繋げる取組を継続実施。 ・乗合ハイヤーサービスの運行により、路線バスとの接続の円滑化を図り利用促進に繋げる取組を継続実施。 ・厚真町公共交ガイドブックの発行(年１回)。 【安平町】 ・地域コミュニティバスと路線バスとの併用回数券により、路線バスの利用促進に繋げる取組を継続実施。 ・安平町総合時刻表の発行(年１回) 【あつまバス】 ・全路線キャッシュレスサービスの継続実施。	（利用促進） 利用促進の取組を行い、利用者の増加を見込む。 【基準年：令和6年補助年度】 ・経常収益　13,612千円 ・経常費用　23,275千円 ・経常収支　▲9,663千円 ・収支率　58.4% 【取組目標年：令和8補助年度】 ・経常収益　13,845千円（約233千円増加） ・経常費用　23,275千円（増減なし） ・経常収支　▲9,430千円 ・収支率　59.4%（収支改善率1.0%）	利用促進 各市町発行の広報誌面を利用した利用促進に関するPRを継続実施 ・各市町HPとあつまバスHPの相互リンクと時刻表と路線図の掲載を継続実施 ・３月に時刻表の新聞折り込みを実施 ・町内の公共交通総合時刻表(時刻表・路線図・利用ガイド)の全戸配布を年１回継続実施(取組主体:厚真町・安平町) ・あつまバス及び各市町、東胆振定住自立圏が行う運行情報の提供や啓発・周知活動の取組については継続実施	【令和7年9月末時点】 ・経常収益　13,610千円 ・経常費用　24,243千円 ・経常収支　▲10,633千円 ・収支率　56.1%	令和7年度の事業決算の処理が終わっていないため、令和6年9月末時点の実績値を使用。	（利用促進） ・各市町村発行の広報誌を活用した利用促進に関するPRを実施(沿線市町：年数回実施) ・各市町HPとあつまバスHPの相互リンクは路線図・時刻表の掲載を継続実施 ・あつまバス及び各市町、東胆振定住自立圏が行う運行情報の提供や啓発・周知活動等の取組については継続実施 ・市町開催の各種イベントに於ける時刻表の掲載の継続実施 【厚真町】 ・地域コミュニティバスの再編を実施、増便及び効率化を図り、路線バスとの利用促進に繋げる取組を継続実施。 ・乗合ハイヤーサービスの運行により、路線バスとの接続の円滑化を図り利用促進に繋げる取組を継続実施。 ・厚真町公共交ガイドブックの発行(年１回)。 【安平町】 ・地域コミュニティバスと路線バスとの併用回数券により、路線バスの利用促進に繋げる取組を継続実施。 ・安平町総合時刻表の発行(年１回) 【あつまバス】 ・全路線キャッシュレスサービスの継続実施。	（利用促進） 利用促進の取組を行い、利用者の増加を見込む。 【基準年：令和7年補助年度】 ・経常収益　13,610千円 ・経常費用　24,243千円 ・経常収支　▲10,633千円 ・収支率　56.1% 【取組目標年：令和9補助年度】 ・経常収益　13,843千円（約233千円増加） ・経常費用　24,243千円（増減なし） ・経常収支　▲10,400千円 ・収支率　57.1%（収支改善率1.0%）	56.1%	56.1%	57.1%	